

編集後記

大学史に関する資料に特別なものは少ない。校舎や風景、行事等の写真や大学の刊行物、また各課事務文書などが、大学史資料課の保存庫の多くを占めている。しかし、それらの資料は、継続的に蓄積され、十年、二十年という歳月を積み重ねること、大学にとって特別な資料となる。大学の歴史を振り返る上で、それぞれの時代を映し出す第一級の史料となるためである。

専修大学は今年、創立130年を迎える。創立時から現在に至るまでの歴史を掘り起こし、新たな歴史を次の時代に残していくため、大学史資料課では、本学に関わる資料を可能な限り収集、保管してきている。しかし、残念ながら大学史の資料が活用される機会は決して多くない。周年記念事業などで使用されることはあるが、展示スペース等も限られるため、資料の多くは日の目を見ることなく眠っているのである。学内にどのような資料があるのか、教職員にさえ知られていないのが実情ではないだろうか。

『専修大学史紀要』は、これまで大学史資料課に保管されていた資料や新たに発見された資料を論文、史料紹介、活動日誌などによって広く社会に発信していくものである。紀要の刊行によって、大学の歴史が注目され、保存庫の資料が教育や研究に活用される機会が増えることを願っている次第である。(大学史資料課長 岩崎俊彦)

執筆者紹介

・日高 義博

専修大学理事長・学長、法学博士

・青木美智男

専修大学一三〇年史編集主幹

・瀬戸口龍一

専修大学大学史資料課員

・石綿 豊大

専修大学大学史資料課員

専修大学史紀要 創刊号

平成21年3月31日 発行

編集・発行

専修大学 大学史資料課

〒101-8425

東京都千代田区神田神保町3-8

電話 03-3265-5879

印刷

株式会社騰栄社
